

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究の対象となる当事者及びそのご遺族だと思われる方で、研究対象となることを望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。当事者であることが確認され次第、直ちに研究対象から除外させて頂きます。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。また、本研究により得られた個人情報は本研究の目的以外では使用せず、研究成果の発表を行う際には個人が特定されないよう配慮いたします。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の方、個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の方も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 国立肥前療養所における戦争体験者の入退院及び治療実態に関する研究
——肥前精神医療センターでの歴史的診療録調査——

【研究責任者】 本村啓介 (国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部非常勤研究員)

【本研究の目的及び意義】

本研究では、国立肥前療養所の診療録を利用し、戦争の精神的な影響や戦後の治療実態を明らかにすることを目的としています。この研究により、戦争という非常時の状況が人間の精神及び社会に及ぼした影響が明らかになる意義があると考えられます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

・1945年から1979年までの間に、国立肥前療養所を退所された方、もしくは同期間に外来で治療を受けた方

利用する試料・情報等

診療録記載の以下の情報：入退院日、病名、性別、年齢、転帰、住所（都道府県のみ）、原職、診療費支払区分、治療経過、生活歴、家族との通信・面談の記録

研究期間

研究機関長の許可日より2024年3月31日まで

【研究機関】

甲南大学、広島大学、大正大学 研究代表者 森茂起 (甲南大学文学部教授)

【資料提供機関】

国立病院機構肥前精神医療センター 情報提供責任者 杠 岳文 院長

2021年4月

○問い合わせ・苦情窓口

中村江里 (広島大学大学院人間社会科学研究科准教授)

メールアドレス：enakamura※hiroshima-u.ac.jp (「※」を「@」に変更ください。)

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1